

土砂災害とは

土砂災害とは、がけ崩れ、土石流、地すべりといった自然現象により、住民の生命、身体、財産などに被害が生じることを言います。

がけ崩れ(急傾斜地の崩壊)

雨や地震などの影響によって、土の抵抗力が弱まり、急激に斜面が崩れ落ちるため、ひとたび人家を襲うと逃げ遅れる人も多く、死者の割合も高くなっています。



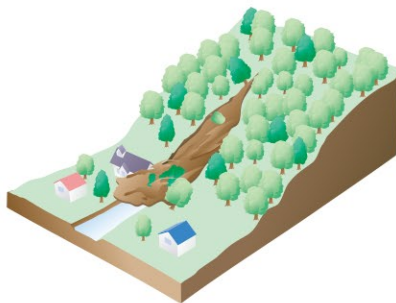
土石流

山や谷の土砂や岩石などが、梅雨や台風期の長雨や集中豪雨によって水と一体となり、一気に下流へと押し流されるものを言います。

その流れの速さは規模によって異なります。

時速20~40kmという速度で一瞬のうちに人家や畑などを壊滅させてしまいます。

本市には、土石流危険渓流の指定はありません。(平成27年3月現在)



地すべり

地面は何層もの地層が積み重なってできていますが、大雨が降り続けると地下に水がたまりやすくなります。

この地下水の力に持ち上げられて粘土層を境に上の地面がゆっくり動く現象を「地すべり」と言います。

地すべりは一般的に広範囲にわたって発生し、大きな被害を及ぼします。

本市には、地すべり危険箇所の指定はありません。(平成27年3月現在)



急傾斜地崩壊危険箇所

傾斜度30度以上、高さ5m以上の急傾斜地で、人家や公共施設に被害を及ぼす恐れのある箇所を「急傾斜地崩壊危険箇所」としています。また、人家はないものの今後新規の住宅立地などが見込まれる箇所も「急傾斜地崩壊危険箇所に準じる斜面」としています。なお、裏面の地図上に示したⅠ・Ⅱ・Ⅲの各地点が本市の箇所となります。

土砂災害危険箇所マップの公表

茨城県河川課ホームページによりマップ情報が提供されています。「茨城県土砂災害危険箇所マップ」で検索します。

▶土砂災害の前ぶれ

次のような現象があったら、土砂災害が起こる可能性があります。直ちに周りの人と安全な場所へ避難するとともに、関係機関へ連絡してください。

がけ崩れ(急傾斜地の崩壊)

- ・がけから水が湧き出す。



- ・がけに亀裂が入る。



- ・小石がパラパラ落ちてくる。



土石流

- ・山鳴りや、立木が裂ける音、石がゴロゴロと流れる音がする。



- ・雨が降り続けているのに、川の水位が下がる。



- ・川の水が急に濁ったり、流木が混ざりはじめる。



地すべり

- ・地面にひび割れができる。



- ・沢や井戸の水が濁る。



- ・斜面から水がふき出す。

